

授業科目名： 公共演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：山脇直司 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校社会及び高等学校公民)		
各科目に含めることが 必要な事項	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		
「学位授与の方針」との関係 「善き公正な共生社会を追究」するための公共哲学の概要を学ぶ科目。			
授業の到達目標及びテーマ 共生社会を形成する人間のあり方を考えつつ、現代社会の様々な公共的な問題について、歴史的な観点も加えつつ、多角的に論考する能力を涵養する。			
授業の概要 まず、共生社会を形成する人間像やコミュニケーションのあり方を論じ、次に、現代の教育、福祉、国際関係、異文化理解、メディア、科学・技術、スポーツ、刑罰のあり方などについて考え、その改善の道をみんなで探っていきたい。			
授業計画 第1回：イントロダクション 第2回：より良き公正な共生社会を形成する「活私開公」型の人間像について考える 第3回：「減私奉公」「減公奉私・活私減公」「無私開公・減私開公」について考える 第4回：現代の教育のあり方について歴史的考察を加えながら考える 第5回： 同上 第6回：現代の福祉のあり方について考える 第7回：現代の国際関係と共生について歴史的考察を加えながら考える 第8回：異文化共生について考える 第9回：メディア（SNSを含む）との共生を考える 第10回：科学・技術の進歩が本当に人間を幸福にしたかを具体例を示しながら考える 第11回： 同上 第12回：スポーツと公共性について考える 第13回：刑罰のあり方や死刑制度の是非について考える 第14回：「理想主義VS現実主義」という二項対立を超える道を考える 第15回：全体のまとめ 定期試験			
教科書 (1) 山脇直司,西永堅,手島純,天野一哉,山口道宏,細田満和子,大嶋英一,渋谷節子,内尾太一,渋谷聡 服部由季夫 著 山脇直司 編(2019)『共生社会の構築のために：教育、福祉、国際、スポーツ』星槎大学出版会 (2) 山脇直司(2008)『社会とどうかかわるか』岩波ジュニア新書 (3) 山脇直司(2011)『公共哲学からの応答—3.11の衝撃の後で』筑摩書房			

参考文献

(1) 山脇直司(2004)『公共哲学とは何か』ちくま新書

学生に対する評価

スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。